

平成28年 第1回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	1 2 番	中 澤 俊 介	一問一答
2	1 5 番	松 尾 榮 子	一問一答
3	1 0 番	近 藤 瑞 枝	一問一答
4	1 1 番	酢 崎 義 行	一問一答
5	1 4 番	増 田 葉 子	一問一答
6	1 番	伊 藤 真 一	一問一答
7	1 6 番	山 本 清	一問一答
8	2 1 番	橋 本 和 治	一問一答
9	1 7 番	軍 司 俊 紀	一問一答
1 0	6 番	櫻 井 正 夫	一問一答
1 1	3 番	小 川 利 彦	一問一答

質 問 1

質問者 12番 中 澤 俊 介

- 1 まち・ひと・しごと創生総合戦略について
 - (1) 印西市総合戦略における将来都市像はどうか
 - ①安定した雇用を創出する
 - ②新しいひとの流れをつくる
 - ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ④時代に合った地域をつくり、安心できる暮らしを守る
- 2 中心市街地活性化について
 - (1) 印旛高校跡地活用による市街地再生の取り組みはどうか
 - ①ふるさと納税を活用した跡地シンボルの整備
 - ②市の木「桜」と市の花「コスモス」の植栽
 - ③道の駅の設置
 - (2) 日本デキシーの跡地利用はどうなるのか
 - ①行政の支援
- 3 都市計画税の減税について
 - (1) 千葉ニュータウン事業収束により見直しが急務と考えるがどうか
 - ①適正な受益と負担の観点による税率改正
- 4 子育て支援について
 - (1) 子育て支援は未来への投資と考えるがどうか
 - ①給付型の子育て支援

質 問 2

質問者 15番 松 尾 榮 子

- 1 千葉ニュータウン事業関連課題について
新住宅市街地開発事業としての千葉ニュータウン事業は、平成26年3月末をもって収束しましたが、印西市においてはまだ多くの未処分地があることか

ら、平成30年度までは引き続きニュータウン事業者による用地の処分等が継続されています。そこで伺います。

- (1) 土地処分と未処分地の状況
- (2) 企業進出、住宅開発等の新たな動向
- (3) 協定に基づく平成27年度末までの工事予定の進捗状況
- (4) 公共施設の引継ぎについて
- (5) 残る課題と対応について

2 市発注工事等に係る入札不調について

関東・東北地方をはじめ全国で、近年、公共工事の入札不調の件数が上昇しています。入札不調により、市民生活に必要な事業の遅れ等の影響も表れています。印西市においては、今年度、防災井戸や防火水槽の設置工事、中学校武道場の吊り天井の撤去工事等、市民や子どもたちの安心・安全に関わる多くの工事が入札中止、入札不調の案件がありました。そこで伺います。

- (1) 市発注工事等における近年の入札中止・入札不調の状況
- (2) 原因の把握
- (3) 対応策について

3 大型車両通行禁止区域での大型トラック等の通行について

市内各所での建設工事、また多くの物流企業の進出等に伴い、多数の大型トラックや工事用車両等が市内を行き交っています。中には、1車線の道路や住宅地の真ん中の大型貨物通行禁止の道路を深夜・早朝に猛スピードで走行する車両もあり、沿道の住民から騒音への苦情や不安の声が上がっています。そこで伺います。

- (1) 大型車両通行禁止区域での大型トラック等の通行に関する苦情があった場合の対応について

4 AEDの設置と活用について

突然心停止の状態になった人を救命するAED（自動体外式除細動器）の普及が進み、印西市においても多くの公共施設や民間商業施設等に設置されるようになりました。市のホームページにおいてもトップページからAED設置箇所を開くことができ、非常時の市民への有用な情報提供になっているものと思います。一方、AEDの使用については、多くの市民にとってまだまだ一般的ではないように思われます。そこで伺います。

- (1) 市公共施設に設置のAEDの利用状況
- (2) バッテリー等の管理状況について
- (3) 非常時の利用体制向上に向けての取組み
 - ①施設閉館時の利用について

- ②市民が気軽に使用できるための講習について
- (4) コンビニ等との協力による夜間への対応について

質 問 3

質問者 10番 近 藤 瑞 枝

- 1 板倉市長の政治姿勢について
 - (1) 政党との関係
 - ①市長就任から現在まで

- 2 北総線の高運賃是正について
 - (1) 板倉市長就任後の北総鉄道への働きかけ
 - (2) これまでの運賃の推移
 - (3) 今後の更なる値下げへの取り組み

- 3 廃棄物政策について
 - (1) 次期中間処理施設について
 - ①前計画の総事業費の当市負担
 - ②前計画と現計画での供用開始時期の差
 - ③施設延命に関わる総費用
 - (2) 吉田地区に決定した建設候補地について
 - ①総事業費の算定
 - ②地元吉田地区への還元
 - ③隣接地区への配慮
 - ④現施設の廃熱利用の事業・温水プールの今後について
 - (3) ごみの減量化
 - ①家庭からのごみ排出量の推移
 - ②ごみ分別細分化の進捗状況

- 4 [認知症カフェ～いんざいオレンジカフェ]について
 - (1) これまでの状況
 - (2) 今後の予定

- 5 学校適正配置について

- (1) 特別支援学級の考え方
- (2) 児童・生徒数について
- (3) 小学校中学校の連携について
- (4) 小規模特認校について

質 問 4

質問者 11番 酢 崎 義 行

1 印旛沼浄化事業と印西市の役割について

印西市を囲む印旛沼と手賀沼は、全国の湖沼の中でもワースト記録に上がる水質であることは周知のとおりです。水と緑を誇る印西市としても非常に残念であるばかりか、水質改善は関係者の悲願です。

千葉県では印旛沼の水質浄化、治水対策は急務であるとして、流域の健全な水循環を考慮した水環境改善策、治水対策を検討するため平成13年に印旛沼流域水循環健全化会議を設立し、平成16年に緊急行動計画を公表した。同時に印旛沼統合河川環境整備事業がスタートし、平成20年には、平成42年を目標年次とした「恵みの沼をふたたび、印旛沼水循環健全化計画」が策定された。そこで以下の件につき伺う。

(1) 水循環健全化計画について

印旛沼の水位は、二つの水門と三つの機場で管理されていますが、大和田機場で降雨時の水位調整の他に「印旛沼流動化放流」と称して年数十回程度行われていると聞く。このことも含めて、

- ①現状把握はできているか。
- ②印西市はどのように関与しているか。

(2) 統合河川環境整備事業について

この事業では、湖岸改良や、浚渫や植生帯整備の実験工事が行われていると聞く。このことも含めて、

- ①現状把握はできているか。
- ②印西市はどのように関与しているか。

2 市道松崎吉田線について

- (1) 事業の進捗状況を伺う。
- (2) 過去の調査等で問題点はあるか伺う。
- (3) 現状を踏まえ、今後のスケジュールを伺う。

3 地籍調査について

会派創進では、今年の1月28日に中越地震で大きな被害を受けた新潟県小千谷市に防災の件で先進地行政視察を行った。その際、復旧復興時の地籍調査の必要性について意見を伺ったところ、災害復旧1点を考えてもぜひ必要な事業であるとのことでした。

印西市においては、議会での質問に事業着手に向けて庁内調整に入っていると聞く、また、新しい印西市地域防災計画（案）にも事業着手への検討が盛り込まれました。

地籍調査は、行政の税務、都市建設、防災等の基礎となる事業であるばかりでなく、不動産売買や民間開発を円滑に進める事業でもある。そこで、

- (1) 今年度の事業着手に向けての成果を伺う。
- (2) 来年度以降の予定について伺う。

質 問 5

質問者 14番 増 田 葉 子

1 災害時要援護者支援と地域福祉

近年の大災害において、避難に支援の必要な要介護高齢者や障がい者等の死亡率は、全体の2倍にのぼると言われ、救助・救援活動が迅速に行われるよう、情報伝達や安否確認の方法を平常時からしっかりと準備しておくことは、市民の生命を守る上で必要不可欠なことです。

避難行動要支援者名簿及び避難支援個別計画の作成は、災害対策基本法で義務付けられており、印西市においても、平成23年3月に策定された「印西市災害時等要援護者避難支援計画」により、あんしんIネットが推進されていますが、取り組みの現状はどうなっているのでしょうか。明日起きるかもしれない大災害への備えを確認するため、以下の点をお伺いします。

- (1) 地域防災計画の改定作業が進んでいるが、避難行動要支援者に関して、何か変更されたところはあるのか。
- (2) 避難行動要支援者は全体でどのくらいおり、名簿はどのように管理されているのか。
- (3) あんしんIネットの進捗状況はどうか。避難支援個別計画が作成できた人数はどのくらいか。
- (4) 災害時等要援護者避難支援計画は、どのように策定されたのか。また、今後は見直しの予定はないか。

2 横断的な取り組みを進めるために

市民生活の課題が多様化、複雑化、深刻化しており、解決には複数の課が連携して、横断的に取り組まなければならない場面が増えています。

いわゆる縦割り行政は、本来、一つの部門が関連する政策に専門的、効率的に取り組めるものであると思いますが、各課の連携が十分にとられず、業務に支障を来したり、政策の効果が上がらない場合は、組織として是正していく必要があります。常に組織を自己点検し、市民生活の要請に応え、さまざまな政策を効果的に推進できる役所であるか、以下の点をお伺いします。

- (1) 他課との連携が必要となったとき、組織上どのような手続きがとられるのか。
- (2) 横断的取り組みのために組織上工夫されていることはあるか。
- (3) 現在、プロジェクトチームのような横断的な組織はつくられているか。
- (4) 総合計画のスマイルプランはどのような推進体制がとられているか。

質 問 6

質問者 1 番 伊 藤 真 一

1 農業における T P P に対する市長の見解について

T P P 交渉は、去年の 10 月に「大筋合意」に達したと発表されましたが、最終決着ではなく、見切り発車の「合意」にすぎません。そこで市の基幹産業である「農業」について見解を伺います。

- (1) 「規模拡大とコストダウンで攻めの農業」による、家族農業切り捨て路線について
- (2) 「48 時間通関制度」により、短くなる検疫に伴う「食」の安心、安全について
- (3) 農業所得に占める補助金の割合が、他国と比べて極めて低い現状について

2 「井戸水」利用者への対応について

印西市では井戸水の利用者は約 1 万 1 千 5 0 0 世帯と多いため、確認いたします。

- (1) 現在、井戸水の水質検査は自主的に行う事になっており、水質検査にかかる費用は市民負担となっていますが、生命にも係わる事なので費用助成が必要ではないでしょうか。

- (2) 井戸水の水質検査については、保健所の他に、市も仲介している状況との事ですが、もっと大勢の市民に分かる方法で知らせる必要があると考えますが、如何でしょうか。

質 問 7

質問者 16番 山 本 清

1 北総鉄道・京成線の運賃値下げ

- (1) 前回の議会以後、どのような交渉をしてきたか。
(2) 「協調路線」に転じてから、どのような成果があったか。
(3) アクセステ急の高額運賃は「総括原価」に違反しているのではないか。

2 次期中間処理施設の建設

- (1) ごみ焼却場の移転の進捗状況はどうか。
(2) 建設予算についてはどのような見通しが立ちつつあるか。
(3) 費用面で9住区案との比較ではどのようになりつつあるか。

3 横断歩道の補修

- (1) 前議会以後、いくつの横断歩道の補修が実現したか。
(2) 今年度中の見通しはどうか。

4 英語教育

- (1) 中学生のオーストラリア研修、英語弁論大会の準備はどのように進んでいるか。
(2) 小中学生のイングリッシュ・トレセンの成果はどうか。
(3) 印西市の中学の英語教員の中で、何人が準1級を持っているか。
(4) 小学校の教員のうち、何人が準1級を持っているか。2級はどうか。
(5) 印西市内の小中学校の児童・生徒は、印西市内で英検を受験することが可能か。5級から1級まで全部の級を市内の小中学校で受験することは可能か。
(6) 小学校の英語教科化に向けて、新年度には具体的にどのような準備を進めるのか。

質 問 8

質問者 21番 橋 本 和 治

1 板倉正直市長の政治姿勢について

(1) 板倉市長の選挙公約に対する市長自身の評価を伺う

- ① ゴミの半減化は達成したか
- ② 二次救急病院の整備はできたか
- ③ 北総線運賃値下げ・買い物問題は解決したか
- ④ 子育て支援・教育政策は充実したか
- ⑤ 税金の無駄遣いは無かったか

(2) 国旗・国歌に対する市長の認識を伺う

(3) 安全保障法制に対する市長の認識を伺う

2 発達障害のある子どもの理解と支援の取組について

(1) 教育現場における理解をどのように推進しているか

(2) 地域における理解をどのように推進しているか

(3) 発達障害の早期発見に向けて、医療関係者との連携をどのように推進するか

3 健診の受診率向上に向けて

(1) 本市における特定健康診査・ガン検診等の受診率の現状を伺う

(2) 受診率向上に向けての具体的な方策を伺う

(3) 「コンビニ健診」を実施する考えはないか

質 問 9

質問者 17番 軍 司 俊 紀

1 まち・ひと・しごと創生について

(1) 人口減少克服と地方創生をあわせて行なうことにより、将来にわたって活力ある社会を目指すとしている。まち・ひと・しごと創生は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地方版総合戦略として、「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定することを努力義務として求めている。

- ①印西市でも総合戦略（素案）を発表しているが、発表された人口ビジョンに記載されている人口と現時点での人口には既に乖離がみられる。現状をどのように考え、今後どのように修正していくのか。
- (2) 昨年末に「地方創生に関する都道府県・指定都市担当課長説明会」が開催され、「まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について」や「平成27年度国補正予算計上の地方創生加速化交付金について」資料が配付されました。
 - ①資料では「生涯活躍のまち」構想が掲げられ、その中には「推進意向のある地方自治体」が「平成27年11月1日時点」で一覧になっている。印西市は応募したのか。
 - ②政府が提出した総額3兆3,213億円の2015年度補正予算案が昨日20日の参院本会議で可決・成立した。この補正予算は、1,000億もの「地方創生加速化交付金」が含まれているが、印西市は応募するのか。

2 「子育て支援」の視点から見た公共施設マネジメントについて

印西市における保育園の待機児童については、ここ5年で増え、市で解決すべき課題として注目をしてきました。しかし、実際には「待機が多い」と言われる3歳未満児については「家庭内保育」にあるのが現状ではないかと考える。そこで以下について確認する。

- (1) 子育て支援と公共施設マネジメントについて
 - ①3歳未満児で保育園に通う児童数と割合はどうなっているのか。
 - ②「地域ぐるみ」の子育て支援拠点は、市内に何か所あり、当該施設への参加者、参加割合はどうなっているのか。
- (2) 学童保育について
 - 小倉台小、原小の学童保育については、定員を超えていると聞く。来年度は「待機」をつくらないための方策はあるのか。

3 平成28年度の教育課題について

- (1) 印西市教育大綱について
 - 平成29年を目途とする国の第2期教育振興基本計画では4つの基本的計画と8つの成果目標があり、大綱が参酌し、策定するものとしているが、他市で見られるような「学校、総合的な放課後対策、幼児教育・保育の充実」といった内容を盛り込むことや、「地方創生の視点を加える」といったことは検討されなかったのか。
- (2) 学校適正配置審議会について
 - ①今までの審議会では「小規模校」に関しての議論が主であったが、反面、大規模校である小倉台小、原小についての議論がほとんどなかったよう

に思う。両校については、大規模化の対応については考えられているようだが、「適正化」についてはどのように考えているのか。

②小規模校についてはどのタイミングで素案の公表や説明を行うのか。

(3) エアコンの設置は予定通り小学校、中学校とも進んでいるのか。

(4) 保護者から要望のあった楽器の購入についての見込みはどうなっているのか。

4 北総鉄道について

北総鉄道は昨年末に2015年度（上期）決算を増収・増益ではあるが、多額の有利子負債をかかえ、累積赤字は未だ161億円と巨額と発表している。

以下について問う。

(1) 決算に関して、市としての分析は行なっているのか。

(2) 平成28年度当初予算で北総鉄道に対する補助金は具体的にどのような内容で、いくら計上されているのか。

(3) 情報交換、意見交換は定期的に行われているのか。

5 放射能・放射線問題について

(1) 我孫子市では先月26日の記者会見で、子どもの甲状腺エコー検査と血液検査の費用助成を4月から始める方針を明らかにしました。印西市ではこの報道を受けた、新しく何か施策を検討できるのか。

(2) 組合と印西市の関係について

印西地区環境整備事業組合では現在、基準値を超えた指定廃棄物である飛灰を約130t保管している。

今後、環境省がいわゆる「指定解除ルール」を固めた場合、直接は保管場所である印西市に話し合いを求めてくることが予想されるが、この対応について印西市は組合と情報共有や意見交換が行われているのか。

6 印西牧の原駅圏の将来について

(1) 近隣地区からの野焼きや異臭の苦情があるが、対応が遅いと批判をいただく。改善はされるのか。

(2) 街路灯などの灯りが切れていると以前より連絡を受けているが、対応に時間がかかるが、なぜか。

(3) 交通量が増えて、Uターン禁止規制の要望が複数箇所あがっているが、対応はできないのか。

(4) 学校前の安全対策は充分か。

①白線の引き直しは進んでいるか。

②減速ロードハンプ（減速帯）は検討されているか。

質 問 1 0

質問者 6番 櫻 井 正 夫

1 イノシシの被害対策について

- (1) 平成26年度と比較して、平成27年度の被害報告は増加しているか。
- (2) 市では、わな免許取得者に補助金を出しているが、取得状況は。
- (3) 電気柵の設置が進んだ地区に隣接する地区では今迄被害がなかった農地に移動して被害が出ていると聞いていますが、この事を市としてどう考えているか。

2 学校問題について

- (1) 小規模校の小学生及び就学前児童のいる保護者にどこに行きたいかアンケートを実施する考えはないか。
- (2) 同一の家庭で上の子と下の子が別々の小学校に通学することは可能か。

質 問 1 1

質問者 3番 小 川 利 彦

1 印西市と農業等について

- (1) 遊休農地及び耕作放棄地の対策について、市の考え方を伺います。
- (2) 農地雑草繁茂（市内の空地含む）の対応状況と印西地区消防組合予防課との連携について、市の考え方を伺います。
- (3) 農産物品等の移動販売車による販売がされておりますが、これまでの実績と今後の課題について、市の考え方を伺います。
- (4) 猪を含む有害鳥獣等の被害等の対応状況及び狩猟免許について、市の考え方について伺います。
- (5) 農業地域内の道路に関する地区要望書等の取扱いと舗装修繕や道路改良問題について、市の考え方について伺います。
- (6) 農業用水事業は土地改良区となりますが、その水源となる印旛沼の水質浄化等について、市の考え方を伺います。
- (7) 農業問題について、板倉市長の考えを伺います。